

第12回学長セミナー

「大学の多様性を拓く

— 高等教育の未来を描く戦略と展望 —

2026年2月24日（火）14:00～16:20

■開催方法：Zoom ウェビナー

■参加費用：無料

■参加対象：本協会の正会員大学及び短期大学の学長・副学長等

《第12回 開催趣旨》

急速な人口減少やAIの進展をはじめとする技術革新など、社会が大きく変容しつつある現在、高等教育機関には「多様性の確保」が強く求められています。ここでいう多様性とは、単に多様な人材を登用することにとどまらず、高等教育へのアクセスを広げるために、新たな教育方法を取り入れることを意味します。例えば、オンラインを活用した学び、マイクロクレデンシャルによる学習のほか、大学間連携による授業の共有化などがあげられます。また、これらを実現するには、地域や産業界等の社会との連携を強化しつつ、グローバルな視点を取り入れることも必要です。

こうした多様な学びの実現を通じて、各高等教育機関が個性を發揮し、魅力ある教育を創り出していくことが求められています。これは、社会からの要請ではありますが、高等教育機関自身が戦略的に取り組むことによってこそ、将来に向けた発展につながるのではないのでしょうか。

今回の学長セミナーでは、各高等教育機関がどのように「多様性」に挑戦しているのか、またその過程において大学執行部(経営人材)がどのような展望を描くべきかについて、具体的な事例紹介を交えながら、本協会正会員校の学長による対話の場としたいと考えています。

*学長セミナーとは

大学基準協会が主催する、会員大学・短期大学の学長・副学長等が大学の将来像や質保証のあり方について、事例や知見を共有しながら意見交換する場です。

《プログラム》

■事例紹介

地域共創×実践教育×大学 **京都文教大学 森 正美 氏** (学長)

「ともいきキャンパス」による現場主義教育、異世代共学の実践

地域・国際×人材養成×大学 **熊本県立大学 堤 裕昭 氏** (学長)

「もやいすと育成システム」によるグローバルな視点で地域課題に柔軟に対応できる能力の養成

高大接続×社会連携×大学 **関東学院大学 吉田 広毅 氏** (副学長)

関内キャンパスを拠点とするICTを活用した高大接続、社会連携教育、分野横断的交流の実践

大学間連携×地域×大学 **中部学院大学 肥後 睦輝 氏** (学長補佐)

大学等連携推進法人「一般社団法人高等教育ネットワーク岐阜」を通じた国公立大学・短期大学のICT活用による連携教育の実践

※登壇順・敬称略

■パネルディスカッション

多様性の時代を切り拓く大学の戦略とリーダーシップ

モデレーター：河合 久 (中央大学学長、大学基準協会理事)

